

申込み方法

えん罪救済センター

えん罪救済センターでは、えん罪事件の当事者およびその代理人に対する支援を無料で提供します。

当センターで支援を検討する事件は以下の通りです。

犯人でないのに犯人として起訴された刑事事件（犯罪ではないのに犯罪として起訴された事件を含みます）。

なお、判決が確定しているか確定していないかは問いません。

以上の条件を満たした事件についてえん罪救済の支援を希望される場合は、次の「申込書」（全6頁）

に必要事項を記入の上、下記の宛先へご送付ください。申込み内容を当センターにて精査し、**DNA 鑑定**

などの客観的証拠によりえん罪の立証が可能であるかという点について検討した上で、当センターで支援

が可能かどうかをお知らせします。

【郵送の場合】

〒603-8577

京都府京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学 人間科学研究所気付

えん罪救済センター

【メール添付ファイルの場合】 ipj2015@outlook.com

【Fax 送信の場合】 075-466-3362

※ ご不明な点がありましたら、上記宛先もしくは電話番号：090-2101-0931 までお知らせください。

※ 支援に関する検討とその回答には数か月かかることもありますので、予めご了承ください。

【お申込みに際してご了承ください】 ※ 本紙は申込書に同封して返送してください

1) えん罪救済センターにてご支援を検討する事件は

- ① 犯人でないのに犯人とされたこと（犯罪でないのに犯罪とされたこと）
- ② その事件で起訴されたこと

の両方を満たす事件です。

2) 当センターでは1)の要件に当てはまる事件について

DNA型鑑定などの客観的証拠によってえん罪の立証が可能であるかを検討した上で、ご支援が可能かどうかを検討します。

3) ご支援可能かどうかをお知らせするまでには長期間を要する可能性があります。予めご了承ください。

4) 申込書に記載した住所等に変更があった場合はセンターまでお知らせください。

上記内容についてご了承くださいましたらご署名と署名した年月日をご記入ください。

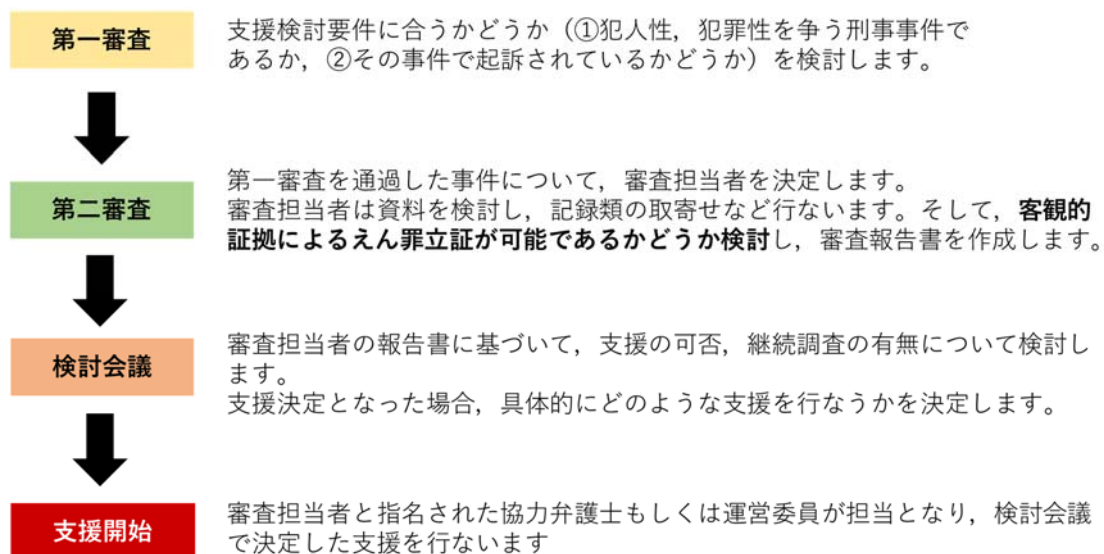
上記内容について了承しました。

_____年 _____月 _____日

氏名： _____

----- ここから下は切り取って保管していただいてもかまいません -----

【センターでの審査の流れ】



申込書に記載した住所等に変更があった場合は，センターまでお知らせください

申込日：____年 ____月 ____日

申込書

以下の項目について必要事項をご記入いただき、あてはまるものに○をつけてください。
わからない、覚えていないなどの項目については空欄でもかまいません。
なおご記入の際、読みにくい漢字には「ふりがな」を付けてください。

1. 申込者について

■^{ふりがな}氏名： _____ ■性別： 男性 ・ 女性

■現在の住所： 〒 _____

※ 釈放後あるいは移送になったときに連絡の取れる住所があればご記入ください。

〒 _____

■電話/Fax 番号：【自宅・会社 電話番号】 _____

【携帯電話番号】 _____

■メールアドレス： _____

■生年月日： _____年 _____月 _____日 (現在 _____歳)

■えん罪を訴えている人との関係： _____

あなたがえん罪を訴えている本人ではない場合、本人の連絡先等を教えてください

■^{ふりがな}氏名： _____ ■性別： 男性 ・ 女性

■住所： 〒 _____

■電話/Fax 番号： _____

■メールアドレス： _____

■生年月日： _____年 _____月 _____日 (現在 _____歳)

■現在の状況： _____

2. 事件について

■ 事件が起こった日時： _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時

■ 事件が起こった場所： _____

■ 被害者の名前： _____

■ 「共犯者」の名前： _____

■ その他, 事件関係者の名前： _____

■ 事件の概要： _____

- 事件について新聞・テレビ報道などがなされている場合は、可能な限りそのすべてのコピーを本申込書に同封してください。
(ウェブサイトの場合、URL をご記入頂くか、プリントアウトしたものを同封して下さい)
また、事件について公刊された書籍、パンフレットなどがあれば、それらも同封してください。

3. 担当弁護士について

■ 事件を担当した弁護士（第一審・高等裁判所・最高裁判所それぞれの段階で異なる場合はそれぞれについてご記入ください）

【第一審】^{ふりがな}氏名： _____ 国選弁護士 ・ 私選弁護士

住所： _____

電話/Fax 番号： _____

【控訴審】^{ふりがな}氏名： _____ 国選弁護士 ・ 私選弁護士

住所： _____

電話/Fax 番号： _____

【上告審】^{ふりがな}氏名： _____ 国選弁護士 ・ 私選弁護士

住所： _____

電話/Fax 番号： _____

【再審請求審】^{ふりがな}氏名： _____

住所： _____

電話/Fax 番号： _____

 ※ 今回のご相談に関して、当センターが上記の担当弁護士へ事件や記録類について問い合わせることがあります。
 弁護士への問合せについてご同意いただける場合は、下記に署名と署名した日付をご記入ください。

本件申込み事件に関して、上記の担当弁護士へえん罪救済センターが問合せをすることに同意します。

_____ 年 月 日

氏名： _____

4. 裁判について

■ 裁判経過：

【第一審】裁判所名： _____

裁判日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

(判決日)

結果： _____

【控訴審】裁判所名： _____

裁判日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

(判決日)

結果： _____

【上告審】裁判所名： _____

裁判日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

(決定日)

結果： _____

【再審請求審】裁判所名： _____

裁判日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

(決定・棄却日)

■ 現在の状況と残りの刑期

現在，刑事施設にいる場合はその施設名と残りの刑期についてご記入ください。

施設名：

残りの刑期：

5. 刑事裁判関係書類について

■ 第一審判決，控訴審判決，上告審判決・決定がお手元にある場合は，本申込書に必ず同封してください。

その他，刑事裁判関係書類や刑事裁判の証拠の写しについても，手元にあるものすべて同封してください。

なお，刑事裁判関係書類には以下のようなものがあります。

- ・ 起訴状
- ・ 検察官・弁護人の冒頭陳述書
- ・ 検察官の論告要旨
- ・ 弁護人の弁論要旨
- ・ [弁護人または検察官の]控訴趣意書，それに対する[検察官または弁護人の]答弁書
- ・ [弁護人または検察官の]上告趣意書
- ・ [弁護人の]再審請求書，それに対する[検察官の]答弁書
- ・ 再審請求審の決定
- ・ [弁護人または検察官の]即時抗告申立書または異議申立書，それに対する[弁護人または検察官の]答弁書
- ・ 即時抗告審または異議審の決定
- ・ 特別抗告申立書
- ・ 特別抗告審決定

※ **お送りいただいた書類は，原則として返却はいたしませんのでコピーをお送りください**

(なお，収監中などの理由でコピーが難しい場合は原本をお送りください。

当センターにてコピーした上で原本を返却いたしますので，

書類を送られる際，返送をご希望されるかどうか下記ご記載ください。)

書類の返送を

希望します

・

希望しません

